



オーダーメイドの家具づくり  
工房 木象庵

藤田 浩司 さん  
(萩高校昭和61年卒 47歳)

と思っていたところ、むつみ地域で住居も隣接した物件が見つかったことから、4年間の修業を終えて、平成25年4月に萩へ帰郷します。

しかし、8月の開業を目前に控えた7月28日に豪雨災害が発生。工房前を流れる川が氾濫し、住居や工房は胸

もう一度、この地で頑張っていこうという気持ちになりました。幸い復旧に向けての支援金を受けることもでき、両親や親戚、友人をはじめ、ボランティアを含むたくさんの方たちに助けていただいたおかげで、当初の計画よりも4カ月遅れましたが、平成25年12月に工房を開業することができました。

### 家具づくりで目指すもの

私が、家具制作で目指すものは、「荒々しさと緻密さの共存」です。切り出したままの木目や荒々しさが魅力である無垢材の良さを活かす、釘は使用せず、組手や仕口といった日本古来の伝統技術を用いることに加えて、約30種類のノミやカンナを使用し、細かな部分にまで手仕事を施します。そうすることで、機械では出せない木材の滑らかさや質感、美しい線が生まれ、触っても楽しんでいただける家具が出来上がるのです。

頼を受けていますが、もつと多くの方々に木象庵を知っていただけるよう、最近では、写真立てや額縁、一輪挿しなどの小物も制作し、地元イベントにも出店をしています。また、市内のホテルや建築関係の会社にも働きかけることで、今後の家具制作につなげていけたらと思っています。

木が生きた年齢と同じくらい使用できる家具を作らなければならぬと言われますが、一代と言わず、孫の代まで長く使ってもらいたいですね。私が生きている限りはアフターケアもさせていきますし、それだけ長く使っているだけの品質、制作方法を実践している自負はあります。

今後も、木の良さを生かし、温もりを感じていただけるようなオーダーメイドの家具を作りたいと思います。

### ■木象庵

住所：萩市高佐下2118

TEL: 083888・80200

HP: <http://mokusyoan.com>

自然豊かなむつみ地域に佇む工房木象庵。手仕事にこだわりながら、オーダーメイドの家具づくりを行う木工職人・藤田浩司さんにお話を伺いました。

### 木工家具との出会い

私が木工家具職人を目指したのは、40歳のときです。それまでの私は、萩高校を経て名古屋工業大学を卒業し、東京でシステムエンジニアやシステムコンサルタントとしてキャリアを重ねていました。しかし、変化の速いIT業界に身を置くうち、自分の成果を目に見える形にして長く残せるような仕事をしたいと考えるようになり、36歳の時に会社を退職。

元々、山や木が好きだったこと

から、自然と関わり合いながら伝統工芸品などを作る職人になりました。思い、日本中を旅しながら自分の今後を模索しました。そんな中、松江で造形作家として活動する方が作った木製家具に出会います。木材が持つ荒々しさの中にも美しさがある家具に一目惚れをしたのです。自分の作りたいものを見つけた私は、40歳の時、出雲高等技術学校木工科に入学し、木工の基礎を学びます。卒業後は、松江の造形作家の方のもとで修業。木の特性を生かして美しく見せる家具づくりを学びました。

の高さまで浸水してしまいました。私自身は近所の方の家に避難させていただきましたが、機械や工具は水と泥にまみれ、木材が散乱した工房の姿には大きなショックを受けました。

そんな中、浸水により斜めに傾いてしまった作業台の上で、2枚の天板を見つめます。それは、被災直前、工房での最初の作品として取りかかり始めたばかりの小さいテーブルの天板でした。一時は、むつみでの開業をあきらめようかと考えることもありましたが、荒れ果てた工房の中で、作業台から落ちることなく、整然と置かれたように残っていた天板を見て、「ちゃんと最後まで作ってくれよ」と私に語りかけているように感じ、

### 豪雨災害を経て、工房を開業

いずれは地元で工房を構えたい

### 孫の代まで使える家具を

現在は、知人や友人を通して依

